

## 女神の前髪

### 立花 厚子



大学を卒業後、東芝系のコンピュータ会社に入社し、システムではなくアプリケーション系のソフト開発の部署に配属され、ユーザーの数値計算的なプログラ

ム作成の仕事をしていました。図形を描く仕事が印象的でしたが、当時はキャラクターディスプレイのみで図形はXYプロッターで線を引くだけでしたので、陰線処理などは交点や前面かなどとプログラムで判断させるしかなく、皆それぞれに様々考えながらの開発でした。コンピュータショーで披露する図を描いたり、電通の商業の図を頼まれたりもしました。会社での仕事で、“もっと数学を勉強しておけばよかった！”と何度も思いました。その後、縁あって本学の計算研究所の助手として勤務することになり、しばらくするとコンピュータ技術の発展が目覚ましく急激で、ワープロやパソコンが出てきました。特にNECのN88と一太郎(ワープロソフト)が爆発的で、本学でも導入しました。その少し前から“コンピュータ”という家政学部共通科目でBASIC言語を使ってプログラミング

を教えていました。その授業の課題で学生さんが作成したドラエモンの絵はとても上手で、退職の折に持ち帰りました。その当時、培風館の編集者が教科書の販促のため何回か訪ねて来ていましたが、何となくBASICのプログラムで図形を題材にするのはどうだろうかと提案したところ、“本にしましょう。”と言われました。それが実現するまでは、編集者と2人して



チョット?大変でした。授業に使ってくれる先生方に著者をお願いすることは一仕事でした。本の内容は、プログラムの文法に従って楽しそうな内容を考えました。編集会議に2度目も通

らなかった時は、電話の向こうで泣いているようで胸が詰まりました。そうして初版2000冊ができ、売れなかったらという心配もなくなりました。この頃からネットワーク技術が進み、情報革命と言われるごとくすさまじい変化で、Microsoft社が参入し始め、パソコンシステムもWindows無しでは成り立たない時代になりました。情報の教職科目なども始まり、下記のような教科書を培風館から出版することができました。

- ・1991年：グラフィックスで学ぶBASIC入門
- ・1997年：Windows95で学ぶプログラミング Word、Excel、Visual Basic、インターネット
- ・1999年：Visual C++で学ぶプログラミング C/C++の基礎からやさしいVisual C++まで
- ・2004年：やさしい情報検索とリレーショナルデータベース

情報検索の技術、SQL、Accessの活用



数学同窓会でお話をするために思い出したのは、最初の本ができた時“女神の前髪を捕まえたのね！幸運の女神が振り向くのは一瞬だから”という言葉とその言葉を贈ってくれた友人のことでした。何にも気にせず、女神の後ろ髪か前髪かなどと聞き流していました。

改めて良き友人の方々との出会いこそが“女神の前髪”だったと、同窓会でいただいたカップを眺めながら思います。

終わりに、このような講演の機会を与えてくださいましたことを心から御礼申し上げます。

